

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和5年10月31日現在

### 今月の重点活動

#### ■南天 新規栽培希望者栽培技術説明会を開催

郡上八幡南天生産組合は、10月27日に新規栽培希望者に対する栽培技術説明会を開催し、農閑期にできる仕事を探していた高鷲町の農業の担い手2名が参加した。当日は郡上市、JAの担当者も参加し、組合長のほ場で約1時間、栽培方法から労働時間・収益性について説明を行った。

高鷲町では庭木として栽培されている南天はあるものの、商用の栽培にあたって雪害対策が必須となることから、参加した2名は、雪害対策を念頭に置き、早速試作を開始することとなった。

今回の説明会は、郡上市特産物である南天の生産振興のため、農業普及課がケーブルテレビを通じて郡上市民に栽培を呼び掛けた結果反応があったもので、今後も新規栽培者を募集する試みを継続し、産地の維持・発展を支援していく。



【苗作りを説明する組合長】

### 安心で身近な「郡上の食」づくり

#### ■夏秋トマト 生産者の活動支援を実施（ぎふ清流GAP農場評価）

郡上市内の夏秋トマト生産者が、10月24日に「ぎふ清流GAP」の農場評価を受け、農業普及課も同席した。評価は概ね4時間かけて栽培記録等の書類確認、農薬保管庫等の現地確認が行われ、改善の必要な取組みについて評価員から説明が行われた。

これまで農業普及課では農業生産活動の改善や模擬審査を行って取得に向けた支援を行っており、今後一次結果報告書の結果を受けて是正支援も引き続き行っていく。

農業普及課では、GAPを推進し、生産工程の管理・効率化及び、農作業安全や労働環境改善を支援していく。



【農薬保管庫の確認】

### 郡上農畜水産物のブランド展開

#### ■水稻 めいほう米づくり協議会による水稻講習会を開催

めいほう米づくり連絡協議会の栽培講習会が10月18日に開催された。7月13日に引き続き2回目の開催であったが、今回は寒水地区で研究組織が発足し、同協議会に加入したため多くの生産者が参加した。

農業普及課から今年の作柄状況、ごま葉枯病対策（ケイ酸不足）等を説明し、関係機関（JA・全農・市アドバイザー）から食味向上に向けた栽培のポイント、検査等級からみたいもち病・未熟粒の発生状況、雑草のヒレタゴボウ対策、新資材の紹介等が行われた。

当協議会は、「郡上おいしい米コンテスト」や道の駅のイベントに積極的に参加しながら、明宝産米のブランド化や地域の活性化を目指しており、今後も農業普及課は活動を支援していく。



【講習会の様子】

## ■夏だいこん 令和5年産だいこん出荷終了

10月も終わり、令和5年産ひるがの高原だいこんの出荷も終了を迎えた。梅雨明け以降の高温干ばつの影響により、品質低下が見られ、生産者は対策に苦慮しながらも、可能な限り質のいいものを生産者に届けようと頑張った1年となった。10月下旬には、出荷している市場を訪問し年産の販売状況について情報交換した。また、組合の反省会では、5年産の反省点や問題点を確認し、6年産に向け、関係機関とともに解決できるよう進めていくこととなった。

農業普及課では、梅雨明け以降におきた品質低下の原因を究明し、次年度以降は軽減できるよう、引き続き対策を検討していく。



【反省会の様子】

## ■トルコギキョウ 土壌還元消毒の還元状態を確認

高鷲町のトルコギキョウ生産ハウスで10月2日に土壌還元状況の確認を農業技術センター病理昆虫部、農業経営課とともにいった。土壌還元消毒効果試験のため、9月1日に土壌還元処理を行い、その後ポリフィルムで被覆して処理1ヶ月後に土壌還元状況を確認することになっていた。

還元状況の確認はハウス内ほ場2か所で採土器を用いて土壌を採取し、ほ場でジピリジル液処理にて簡易的に行った。また、採取した土壌を持ち帰り病理昆虫部でより詳細な調査も行う予定である。

農業普及課では、化学農薬を使用しない土壌還元消毒の試験を今後関係機関と共同で進め、効果の確認を行っていく。



【ほ場での還元状況の確認】